

(一八〇七)
二〇 文化四年八月 藤岡町の近江商人十一屋身分定書〔B〕

身分定事

- 一糸絹類、身ニ付不レ申候
 - 一碁・将基致間敷候
 - 一他行、日の内ニ帰り可レ申候
 - 一用事之外、近所江出不レ申候
 - 一学文致申間敷候
 - 一連哥・俳偕致間敷候
 - 一酒宴・遊興致間敷候
 - 一手道具、百文迄品用可レ申候
 - 一脇差、式分下直之品用可レ申候
 - 一洗度はり替物の外、着用不レ申候
 - 一朝八日之出迄、私用相叶可レ申候
 - 一夜者五ツ時(臥)ふせり可レ申候
 - 一商売方出情可レ致事
 - 一本店暑寒見舞相勤可レ申候
- 右之通相定候上者、何事ニ「不レ寄身分之儀ニ付、脇と不埒」之沙汰請申間敷候、何様ニ相定候上者、皆々様宜「御頼申上候、為ニ後日「一書差」上申候、如レ件

文化四年

丁卯八月

十一屋勘藏様

同 専助様

十一屋

長兵衛